

京都市外郭団体中期経営計画

(公財) きょうと京北ふるさと公社	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

基本事項			
所管局課	産業観光局農林振興室 農政企画課	本市出えん金	25,000 千円
基本財産／資本金	30,000 千円	本市出えん率	83.3 %

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」

当欄では、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」において、外郭団体としての位置づけを「存続」するか、外郭団体としての位置づけを外れて「自律化」「解散」するかのいずれの方向性を決定したかを記載している。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

本市の出えん率引下げに向けた実施計画

取組内容	H30	H31	H32
	自律化に向けた協議	自律化に向けた協議	自律化の実行

2 今後取組を進めるうえでの「基本的方針」

当欄では、「今後の方向性」の実現に向けて、各団体が業務面、財務面、組織面及びその他の各分野ごとに取り組むべき課題等について記載している。

業務面	<p>公益事業における公社事業の柱としての農地・農業に伴う地域課題に積極的に関わり、京都京北未来かがやきビジョンに基づく「米工房」の整備や、「農の学校」の創設等の実現によりそれら施設の機能を発揮させ、地域農業の担い手となる新規就農者の育成に取り組み、事業を通じて地域農業を守り支える取組を展開する。</p> <p>また、地域特産物の生産拡大や地産地消の取組拡大、あるいは地域内の組織団体と連携して、空き家紹介(活用)に取り組むなど、地域の活性化に繋がる取組も継続して行う。</p> <p>なお、地域公共交通事業については、将来にわたってバス運行が存続出来るよう、利便性のある効率的な運行を目指し取り組む。</p> <p>収益事業については、貸館事業として公社施設が住民により多く利用されることを目指すとともに、指定管理を受けている地域特産物需要拡大センターや宇津峡公園の運営事業についても、申請時の計画に基づき集客(利用客)と収益の増加を目指す。</p> <p>なお、現在受けている指定管理者期間が平成30年度で終了するため、次期4年間についても指定管理が受けられるよう取り組む。</p>
財務面	<p>各年度の計画に基づき健全な予算執行を行い、費用対効果、経費節減に努めるとともに、収益事業では収益率を高め、公益事業を補完するための十分な収益確保を目指す。</p>
組織面	<p>安定した公社運営を行うための組織を構築するため、組織強化を図るための正職員並びに嘱託職員の増員を計画的に行うとともに、スキルアップのための職員教育に取り組み、公社運営を担える人材育成に努める。</p>
その他	<p>特になし。</p>

京都市外郭団体中期経営計画

(公財) きょうと京北ふるさと公社	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「基本的方針」を実現するための具体的な取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成32年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標1「農地集積事業実績の拡大」

取組内容	農地利用集積円滑化団体として、農地の「中間保有・再配分機能」を活かし、利用権設定による農地の借り受け、貸し付けによる利用権設定並びに売買等に関わる事業を推進し、貸手と借手の斡旋業務として担い手農家の規模拡大や、新規就農者の支援活動に積極的に取り組むとともに、地域内の優良農地の保全と景観の維持に努める。					
○指標	利用権設定実績					
採用理由	地域の状況に鑑み、農地集積円滑化団体として公社事業の柱として推進しなければならない事業であるため					
目標値	H28(実績) 0	H29(見込) 1	H30(目標) 3	H31(目標) 5	H32(目標) 5	(単位：件)
実現方法	定期的に地域へ配布の広報紙やホームページへの掲載等により、農家からの借受農地の情報収集及び農地調査に取り組み、担い手農家や新規就農者に斡旋する。					

目標2「便利屋事業の利用拡大」

取組内容	作業登録者により、地域内人口の減少と高齢化に伴う多種多様な作業委託に対する対応や、農業後継者不足による農地の荒廃防止等を目的に、農作業や日常生活に於ける地域住民の幅広い要望に応え得る積極的な事業を展開する。					
○指標	受託作業数					
採用理由	地域の担い手事業所として、地域からの要望に対応することが必須であるため					
目標値	H28(実績) 469	H29(見込) 430	H30(目標) 450	H31(目標) 450	H32(目標) 450	(単位：件)
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域への事業PRを他の事業と連携して広報紙等で行い、事業拡大に取り組む。 ・ 行政機関、地域組織、地元民間企業からの作業依頼にも柔軟に対応する。 ・ 若年作業者の確保に努め、作業技術や知識等の承継に取り組む。 					

京都市外郭団体中期経営計画

(公財) きょうと京北ふるさと公社	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

目標3 「担い手養成実践農場の取組による農業研修生の受入れ」						
取組内容	地域課題である農業担い手不足の対策として、府の制度を活用し新規就農を目指す研修生を地域内外から計画的に受け入れ、2年間の研修後の独立・自営就農により、地域農業の後継者としても育てることを目標に取組を進める。					
○指標	研修生受入数					
採用理由	計画的・継続的に研修生を受け入れることが必要であると考えられるため。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	—	1	2	2	2	
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林漁業就業相談会での相談窓口対応や京都府ジョブカフェでの研修先案内 ・ 農業大学校等へのアプローチ ・ ホームページ等による研修受入案内 					

目標4 「地域特産物と地産地消の取扱い拡大」						
取組内容	<p>「地産地消」や「食育」の取組として、京北地域の各小学校に米飯給食用の米を提供するため、従来の野菜に加え、米栽培の面積拡大(公社から地元農家への依頼面積含む)に取り組む。</p> <p>また、新京野菜「京北子宝いも」について、京北名のついたブランド野菜として、「子宝いも栽培研究会」とともに生産拡大に取り組む。</p>					
○指標1	米の栽培面積の拡大					
採用理由	学校給食への供給が今後も増加すると見込まれるため					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：a)
	70	140	200	250	300	
実現方法	利用権設定により、貸付希望のあった農地を確保しコシヒカリを栽培する。					
○指標2	京北子宝いもの生産者拡大					
採用理由	生産者の拡大が生産量の拡大及び産地化に繋がるため					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：件)
	17	18	20	22	24	
実現方法	「子宝いも栽培研究会」とともに生産者拡大に取り組む。					

京都市外郭団体中期経営計画

(公財) きょうと京北ふるさと公社	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

目標5「交流施設(京都市宇津峡公園)の利用者拡大」

取組内容	京都市の指定管理者制度による指定管理者として、都市・地域住民との交流、森林資源、桂川の清流等京北地域特有の自然環境を生かした安心安全な屋外レクリエーションの場としての施設運営に努める。					
○指標	施設利用者数					
採用理由	利用者数の把握により、稼働状況と運営方法を検討するため。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	11,723	11,300	11,900	12,150	12,400	
実現方法	「川遊び」や地域行事との関わり、企画イベントの積極的なPRにより、リピーターや新規利用者の誘致を図る。					

目標6「地域特産物利用拡大施設(道の駅ウッディー京北)の入館者拡大」

取組内容	京都市の指定管理者制度による指定管理者として、地域野菜や加工品(食品・木工品その他)等の地域特産物の利用拡大を図るとともに、「道の駅」としての休憩・情報発信・地域連携の3つの機能を果たす。					
○指標	入館者数					
採用理由	入館者の増加が公社運営と地域活性化に影響するため					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	414,341	398,000	410,000	420,000	430,000	
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心安全な新鮮野菜の提供と品質向上に努める。 ・ 接客対応、商品知識の向上等、顧客満足のための職員資質の向上に努める。 ・ 喫茶部門において、地元食材を使ったメニューを提供する。 ・ 入館者と施設利用の拡大を図るため、地域外へのイベントにも積極的に参加し物販と合わせたPRを行う。 					

京都市外郭団体中期経営計画

(公財) きょうと京北ふるさと公社	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

(2) 財務に関する取組

目標「収益事業による収益確保」						
取組内容	公益事業を補完するための、収益事業における収益をより確保するために、事務経費や人件費、原材料の仕入れなど経費の節減に努め費用対効果を追及するとともに、施設利用による貸館事業では、より効果的な収益確保と多くの利用を促すための地域へのPR活動等を行い収益拡大を目指す。					
○指標1	道の駅ウッディー京北喫茶部門の純利益の増加					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	△ 800	700	900	1,200	1,500	
○指標2	宇津峡公園の純利益の増加					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	403	△ 150	600	700	800	
○指標3	公社施設の貸館利用に伴う純利益の増加					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	447	120	500	700	1,000	

(3) 組織に関する取組

目標「安定的な運営のための計画的な人材確保」						
取組内容	<p>本公社の将来を見据え、また京北地域に必要で継続的な事業運営を行うため、定年等による退職者の補填も含め、安定的な身分の職員(正規職員及び嘱託職員)の確保に努める。</p> <p>正規職員については、平成28年度に農に関する事業に伴う正規職員を採用し、その後も、地域雇用の創出として、新卒者の採用も含め各事業部に最低1名の正規職員が配置出来るよう取り組む。</p> <p>嘱託職員については、ウッディー京北における業務の円滑化や正規職員の補佐的な役割が果たせるようパート職員からの変更や、定員に達していない地域交通事業部バス乗務員の人員確保に努める。</p>					
○指標1	正職員数					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	4	4	4	4	4	
○指標2	嘱託職員数					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	18	16	18	18	18	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財) きょうと京北ふるさと公社	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-------------------	---------------------------

4 中期経営計画に対する意見

団体が作成した中期経営計画に対する、所管局の意見を記入します。

所管局	<p>京北地域の農業を将来に向け支えるべく、「米工房」の整備や「農の学校」の創設の実現に向け、学校給食への供給に向けた米の栽培面積の拡大や担い手育成のための農業研修生の受入れ等の新たな取組や、これまでの既存事業も継続しながら、地域の活性化のために、課題の解決に取り組む姿勢は評価できるものである。</p> <p>公社の経営の安定化のために、公益及び収益事業の効率化等に努めるとともに、平成30年度で終了となる指定管理を引き続き受託できるよう更なる努力をしてもらいたい。</p>
-----	--